

制定年月：平成15年11月

名称：エポキシ樹脂塗装鉄筋の塗膜硬化性試験方法（案）
(JSCE-E519-2003)

Test method for hardness of coating of epoxy-coated reinforcing steel bars

適用範囲

この規準は、粉体塗装後にエポキシ樹脂塗装鉄筋の塗膜の硬化状態を鉛筆硬度で試験する方法について規定する。

試験器具

- * JIS S 6006に規定される硬度Fの鉛筆（財団法人日本塗料検査協会で検定したもの）
- * JIS R 6252に規定される400番研磨紙

試験方法

- * 鉛筆は始めに木部のみ削って、しんを約3mm出し、次に平らに置いた400番研磨紙にしんを直角にあてて円を描きながら静かにとぎ、先端が平らで角が鋭くなるようにする。
- * 鉛筆の先端は試験ごとに毎回新たに研いで使用する。
- * 試験は塗装後に塗膜温度が室温にまで下がった状態で、塗装後2時間以内に行う。
- * 試験は室温で行う。
- * 試験材（エポキシ樹脂塗装鉄筋の製品そのものを用いる）表面に油、水、ほこりなどが付着していないことを確認し、付着している場合には、ウェスなどで拭き取る。
- * 試験箇所は、エポキシ樹脂塗装鉄筋の節、リブ部は除き、節と節、リブとリブの間のほぼ中央部の平面部とする。
- * 手かき法に準じて鉛筆を平面部に置き、鉄筋断面の法線方向かつ鉄筋の軸しんに対して45°となるように接触させる。
- * 鉛筆のしんを折れない程度に押し込み、鉛筆を前方に滑らせる。
- * 試験後の塗膜表面で傷の有無を調べる。